✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧

✧　令和５年度東京都・東村山市合同総合防災訓練に展示参加しました

令和５年度東京都・東村山市合同総合防災訓練が９月３日(日)に、東村山市役所周辺の各会場で開催され、(一財)気象業務支援センターも緊急地震速報利用者協議会と共に、天王森公園で展示・体験等訓練に参加しました。

今回の訓練は、「発災後 100 年の節目を迎える『関東大震災の教訓』と『防災分野におけるデジタル化(防災 DX)』を踏まえ、東京の防災力の更なる向上に寄与する実践的な訓練を実施する」こととして、「住民等による自助・共助」、「行政及び関係機関の連携」を統一テーマに開催されました。

一昨年、コロナの影響で直前中止となった東村山市との合同の防災訓練で、コロナ５類への引き下げ後、「入場制限なし」での初めての開催となり、会場には多くの家族連れを含む来場者がありました。当日の気温は 30℃を超え、提供頂いたブースも東向きで非常に日当たりの良い場所のため、来場者からは「暑さに気をつけて頑張ってください」と励ましていただき、熱中症対策にも考慮しつつ、展示訓練を行いました。

【写真】展示ブースの全景

【写真】来場者への説明

【写真】救出・救助訓練風景

【写真】最寄り病院への
ドクターヘリによる患者

【写真】特殊車輌展示及び地震
体験訓練の風景

特別ブースでは、100 年の節目を迎える『関東大震災の教訓』と題し、「出張博物館」の出展もありました。来場者には、大きな関心を持たれ、事前の準備の重要性を理解されたものと推察します。

東京都と都内市町村との合同で毎年開催されるこの防災訓練ですが、想定される首都直下型地震や南海トラフ地震に対し、地元住民の皆さんの緊急地震速報など防災情報の正しい理解、活用に活かされることを目指し、今後も積極的に取り組んでまいります。　　(配信事業部)